

2019年9月8日ワークショップ記録展

The Library of Smell — 匂いの図書館 —

Hisako Inoue Collaboration with Mika Shirasu

展覧会に向けて



会期 10/22(火) - 11/28(木), 2019

展示のための本選び

ワークショップ後半は、自宅から持参した本、館内から選んできた本、匂いの感覚に共鳴した本の官能評価（スパイダーチャート）と蘇った記憶をカードに明記しました。プログラムのファイナルワークとして、一人一人が選んだ本と匂いの印象を発表し、共感した匂いの本は、再度、全員で回して嗅ぐ体験を楽しみました。全員が語らい、人の意見を聞くことは、目で文章を読む読書では味わえない本の価値観、人間との関係性、幅広い発想、見えない感覚の気づきを与えてくれました。

そして、選りすぐりの興味深い匂いがする 17 冊が選出され、展示作品として匂いの官能評価(スパイダーチャート)と一緒にお披露目となりました。是非、手に取り、自分の鼻で確かめてみてください！どんな印象をもち、記憶が蘇りましたか？



参加者が集めた本は、驚くほど独特な匂いを秘めたものばかりで、全員で共感した「寿命図鑑」の梅昆布茶の香りは絶品でした。また、全体的に子供の頃の経験、人の匂い（体臭）や食べ物に関する言葉が抽出され、ポジティブなイメージが集中したように思います。本の構造（身体）要素の糊、紙やインク、そして、経年劣化と借用した人の皮脂や環境の痕跡が生み出す香りは、自然、時間、不特定多数の人たちとのコラボレーション、総合芸術と言っても過言ではありません。また“匂いの読書体験”は、本が歩んできた時の旅路に思いを馳せ、個々の脳裏、心に宿る唯一無二の可視化できない“記憶の作品”であると思います。本の匂いと向き合うことは、結果的に自分と向き合う時間になり、今まで生きてきた自分のポートレートにもなるでしょう。

記録：井上尚子



図書館で興味深いにおいの本を選ぶ

参加者が匂いで選んだ本リスト

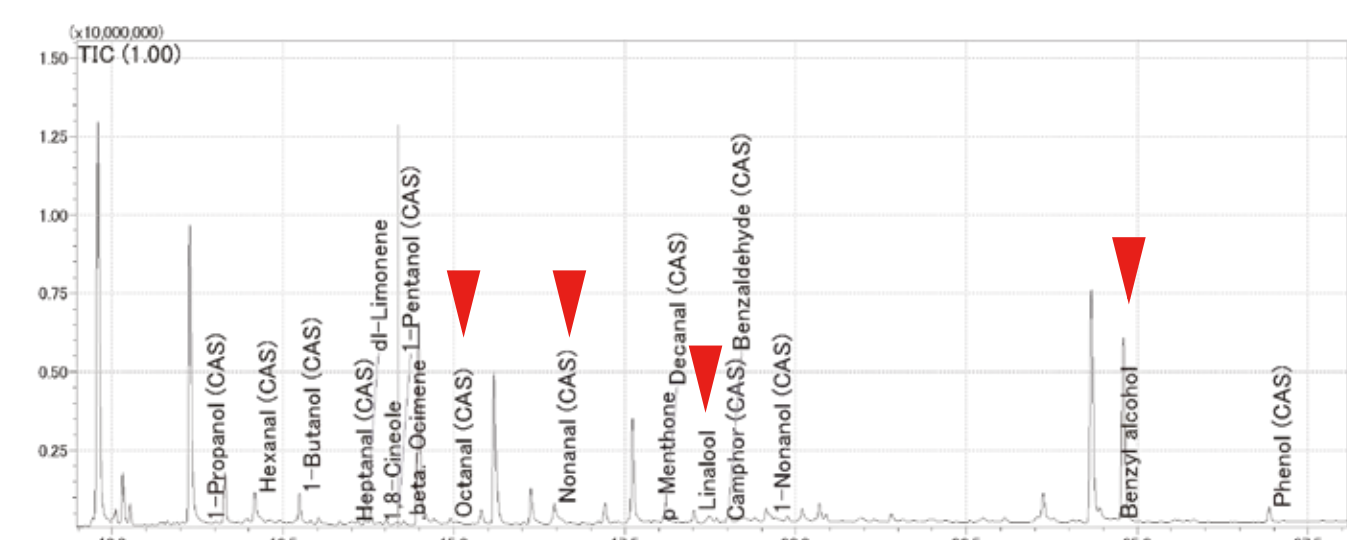
	書名	サイズ(cm)	
		タテ	ヨコ
1	図芸大百科事典	27.5	22.5
2	接着ハンドブック	21.5	15
3	流星ワゴン	19.2	13
4	判例辞典	21.3	15
5	日本教科書体系	22.5	15.5
6	簡単！手作りコスメバイブル	18.7	12.9
7	谷間の百合	14.7	10.5
8	日本法令索引	25.6	18.3
9	文部時報	21	14.7
10	シンデレラウミウシの彼女	18.7	13
11	美容室・理容室・サロンで働く人たち	20.9	15
12	大杉栄追想	17.1	11.1
13	バーオソル・ダイエット	20.9	14.9
14	フランケンシュタイン	25.6	18.3
15	星吐く羅漢	19	13.8
16	古都櫻	21	21
17	寿命図鑑	27.2	23



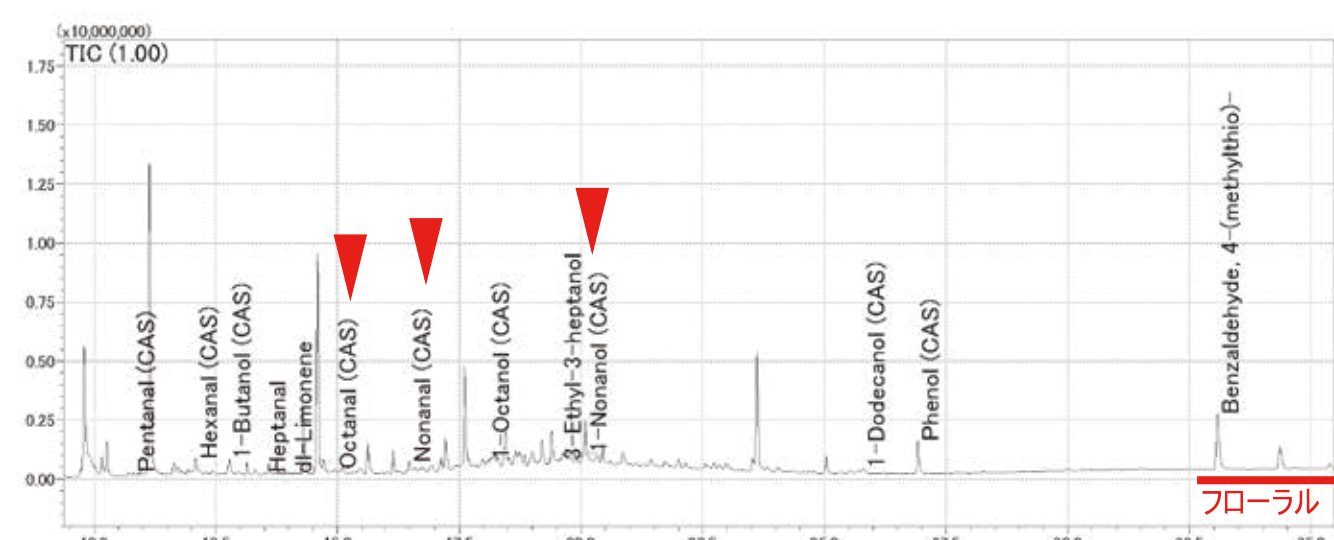
約 45 冊の匂い嗅ぎ比べ。
感じたことをスパイダーチャートへ記して
いきました。

図書館の本のにおい分析

参加者全員でにおいのイメージを共有した「寿命図鑑」の梅昆布茶のにおい、「古都櫻」の人の痕跡を感じる青臭いにおいを白須未香氏に、におい分析装置で解析してもらいました。(2019,10,7)



Nonanal・Octanalなどの草の香り成分、スズランやラベンダーに含まれる Linalool が特徴香成分として検出されました。
また梅の香りの主成分の一つとして知られる Benzyl alcohol が検出されました。これらの香りが混ざり合うことで、参加者は本の香りを梅昆布茶と感じたのかもしれません。



Nonanal・Octanalなどの草の香り成分、オレンジの香りの Nonanol が特徴香成分として検出されました。こちらの本は、参加者が桜の香りがすると評価してくださいました。成分は同定できなかったのですが、保持時間約 33 分以降に、甘くフローラルな香りが感じられ、この成分を桜の香りと感じた方が多かったのかもしれません。桜の写真集から花の香りがするというのも風流ですね。

においの分析方法について

【匂い捕集】本のにおいを袋にとじこめ、本から立ち上るにおいを“におい捕集材”にトラップします。



におい捕集剤



シリカゲルと活性炭からできていて表面に
あいている沢山の小さな
穴ににおいが吸着され
ます。



【におい分析装置】においを分析したい物を分析装置（ガスクロマトグラフ質量分析計）に注入します。当研究室の装置は、分析計で、におい成分の化学構造がわかるのと同時に、においかぎポート（写真女性が鼻を近づけている箇所）から、その成分のにおいを確かめることができます。